

平成 27 年度渉外委員会事業報告

1. 子宮の日の活動：2015 Love49 プロジェクト

今回は 42 都道府県（89.0%）が参加致しました。ご協力ありがとうございました。
北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、新潟県、長野県、茨城県、群馬県、
埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、栃木県、富山県、石川県、福井県、愛知県
静岡県、岐阜県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、大阪府、和歌山県、京都府
広島県、山口県、鳥取県、岡山県、島根県、愛媛県、香川県、徳島県、福岡県
佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、長崎県

今回は細胞検査士会から提供するグッズとしてポケットティッシュを 4 万 5 千個作成し、全国の都道府県へ配送しました。

2. 平成 26 年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会活動と育成・養成活動）

平成 26 年度細胞検査士会活動調査は、【啓発・社会】と【育成・養成】に分けて実施しました。（調査期間：4 月から 9 月）（回答率 91%）

○啓発・社会活動の報告（渉外委員会添付資料 1）

2014 Love49 キャンペーン実施都道府県数：39 都道府県（83.0%）

総イベント数：93 イベント

参加者数：約 2406 名（細胞検査士 1065 名、臨床検査技師 217 名、医師 43 名、
その他「ピンクリボンキャンペーンなど」1081 名）

○育成・養成活動の報告

開催数：152（複数開催した都道府県あり）

参加者数：約 3727 名（細胞検査士 1916 名、臨床検査技師 1424 名、医師 215 名、
その他 119 名）

○子宮頸がん検診推進活動支援金のアンケート報告

子宮頸がん検診推進活動を申請状況：平成 26 年度分申請あり：32/43 都道府県

平成 27 年度分申請あり：35/43 都道府県

金額（5 万円）の妥当性：妥当であると回答あり：33/43 都道府県

3. 第 56 回日本臨床細胞学会総会および第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会（6 月，11 月） におけるパネル展示

子宮頸がん検診委員会と共同で LOVE49 キャンペーンのパネル展示を行いました。秋期大会でも同様にパネル展示を行いました。

第 56 回日本臨床細胞学会総会担当者：山本秀巨 前渉外委員

第 54 回日本臨床細胞学会秋期大会担当者：小林幸弘委員，田所 猛 委員

4. 子宮頸がん予防・啓発連絡会議への参加

2015年4月8日(水)に開催された「第14回子宮頸がん予防・啓発連絡会議参加報告」に参加しました。出席者：吉田志緒子 委員

5. 子宮の日全国アクション2015 報告会

第56回日本臨床細胞学会総会(島根：2015年6月14日(日)10:20~11:50)において2015 LOVE49 報告会を実施し、細胞検査士と専門医から5演題を報告して頂きました。第57回日本臨床細胞学会総会(横浜)においても2016 LOVE49 報告会を行うので、多くの方のご来場をお待ちしております。

6. 細胞検査士パンフレット「がん診断の担い手細胞検査士第3版」の配布

4-10月末までに、4施設に1,850部数を郵送しましたが、今年度は発送部数が少ないです。印刷部数と郵送費がある限り随時継続していきます。

7. 第11回がん患者大集会の会場協力(2015.11.15)

メイン会場：東京医科歯科大学 M&D タワー鈴木章夫講堂

メイン会場では9名の東京都細胞検査士の方々にご協力頂きました。

8. 2016 Love49 プロジェクトの準備(2015.12-2016.3月)

2016 Love49 キャンペーンの趣意書発行を伊藤会長へ要望し、庶務委員会から各都道府県へ郵送して頂いた。

2016年4月9日前後に、特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会と共に、子宮頸がん検診啓発活動を行うための準備を行っています。特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会は2016Love49 全国アクションに関する後援を厚生労働省から得ている(平成27年12月16日付)。

昨年と同様に2016Love49 キャンペーンで配布する細胞検査士会オリジナルポケットティッシュを作成「受けましょう、子宮頸がん検診」しています(増量予定)。

平成27年度渉外委員会事業の総括

今年度の渉外委員会は、昨年度に引き続き学会時のLove49 報告会、パネル展示やがん患者大集会などへの参加協力を行いました。子宮頸がん検診の啓発事業であるLove49 キャンペーンでは、細胞検査士会からのオリジナルポケットティッシュ「受けましょう、子宮頸がん検診」を全国の一般の方々へ届けることができました。また、がん患者大集会では連絡体制の不備がありましたので、伊藤会長と共に委員会内で整備することができました。一方、昨年度の課題であった、細胞検査士会HPにおけるLove49 活動関連ページの充実が行えませんでした。多くの会員または一般の方々がHPをみて、「細胞検査士会が伝えたい

こと」を感じて頂ける HP を作っていきたいと考えています.

渉外委員会 河原明彦